

**令和5年度 菊池市総合計画及び  
菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価審議会 議事録（要点筆記）**

日時 令和5年9月21日（木）13時30分～17時00分

場所 菊池市役所 2階 204会議室

（出席委員）上野 眞也、笠 愛一郎、佐藤 由紀、糸岡 しげ子、大石 顕寛、谷 和彦、  
角田 友和、森 智保美、加來 留、古津 理恵

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 会長・副会長選任（会長：上野 眞也委員、副会長：加來 留委員）

5. 議 事

- (1) 菊池市総合計画前期基本計画（令和4年度の施策）の評価について  
質疑

●横断的項目1～横断的項目4

（委員）	証明書交付等のオンライン申請の稼働率（全体に占める割合）はどのくらいなのか。
（執行部）	昨年度途中から運用開始となっており、稼働率等は計算していないが、令和4年度のオンライン申請件数は140件である。
（委員）	菊池前進塾について、令和4年度の実績はどうなっているのか。また、令和5年度の参加状況はどうなっているのか。
（執行部）	令和4年度の実績としては、国公立大学への進学が2名、私立大学への進学が1名となっている。令和4年度は70名が入塾し、令和5年度は卒業や新たな入塾があり、現在98名が在籍している。
（委員）	移住定住について、一部では移住者が地元の住民とトラブルになったり、地域に馴染めずに転出したりするケースもあると聞かすが、移住者の定着状況はどうなっているのか。
（執行部）	市では、地域での暮らし等を体験してもらう移住ツアーを開催しており、令和4年度はツアー参加者の内、2組が移住されている。移住者の方が地元住民等とトラブルになるといった事例の報告は市には入ってきていない。
（委員）	SDGsの担当部署はあるのか。
（執行部）	全庁的なSDGs推進の専門部署（SDGs推進室）を令和4年度より設置している。なお、SDGsは17のゴールがあるため、各ゴールに関連した施策等については、各部署で取り組んでいる。
（委員）	SDGs自体は国連や国が掲げている目標であり、総花的なものである

	ため、自治体の取組に落とし込みにくい面もあると思う。評価資料では、SDGsの普及啓発の取組しか見えていないように感じるが、SDGs達成に向けた菊池市の取組をどのように進めようと考えているのか。
(執行部)	本市は令和3年度に内閣府よりSDGs未来都市に選定され、SDGs未来都市計画を策定しており、当該計画等に基づき取組を進めている。特に、本市は従前から「癒しの里きくち」を将来像に掲げており、地域資源を活かした施策や環境へ配慮した施策などを進めている。
(委員)	地域おこし協力隊は現在何名いるのか。また、地域おこし協力隊の地域への定着状況はどうなっているのか。
(執行部)	現在在籍している地域おこし協力隊は2名であり、3高校の魅力化や移住定住の支援等に取り組んでいる。これまで累計27名の地域おこし協力隊を採用している。これまで在籍していた地域おこし協力隊については、協力隊としての活動終了後も多くの方が定住している。

●ありたい姿1（人が集まる魅力のあるまち）

(委員)	海外友好都市について、現在は韓国の2都市と中国の1都市が友好都市となっており、新たな動きとして、台湾宜蘭市との交流に向けた動きもあると思うが、現状はどうなっているのか。
(執行部)	海外友好都市については、現在は韓国の2都市（金堤市と清州市）と中国の1都市（泗水県）が友好都市となっており、令和4年度はコロナ禍の影響により、金堤市と市内中学生のオンライン交流会を実施した。現在は台湾宜蘭市との交流推進に向けて取り組んでいる。
(委員)	台湾宜蘭市との交流推進については引き続き進めてもらえればと思う。一方で、従前からの海外友好都市の内、特に中国の泗水県については、最近交流がない状況である。韓国については国同士の関係性も改善傾向にあるが、中国との関係性も微妙な状況である。国同士の情勢もあると思うが、現状と今後について教えてもらいたい。
(執行部)	中国の泗水県については、年に一度先方へ文書を送付しているが返事がない状況である。関係の継続等に関しては今後の検討課題である。韓国の2都市（金堤市と清州市）については、今年度に来訪されるなど継続的に交流が行われている。
(委員)	ふるさと納税の返礼品について、人気の返礼品はどういったものがあるのか。
(執行部)	令和4年度の返礼品の申込が多かったものとしては、黒毛和牛やいちごのアイス、天然水などである。
(委員)	ふるさと納税について、市では専門業者に業務委託をしていると思うが、昨今はビジネス的な要素が強くなっているように感じる。寄附額に対して、委託料等の経費も発生していると思うが、委託等に対して市はどのように考えているのか。

(執行部)	ふるさと納税の返礼品や経費等については、総務省が地元産品の活用や寄附額に対する経費の割合等のルール改正を行い、10月が施行される予定である。委託によるメリットとして、職員による直営よりもふるさと納税のPR等により時間を注力できるということあるため、経費を最小化しつつ、効果的な取組につなげていきたい。
-------	--

●ありたい姿2（地域資源を生かした観光のまち）

(委員)	そもそもの話になるが、成果指標の基準値がコロナ禍の数値となっており、目標値の設定が難しいと思うが、観光に関する目標値が妥当なのか。コロナ禍以前の数値が見えないので、少し違和感がある。
(執行部)	宿泊者数の令和7年度の目標値については、コロナ禍以前の人数までの回復を目指すということで設定をしている。
(委員)	宿泊者数を増やすため、市は具体的にどういった取組を進めているのか。
(執行部)	観光資源の魅力化や菊池に来てもらえるようなプロモーション等を市の観光振興ビジョンに基づき、取組を行っている。 特に、近年はヘルスツーリズムやアウトドア等にも力を入れており、こうした取組を通じて宿泊者数の増加につなげていきたい。
(委員)	昨年度の外部評価委員会の中で、スポーツ大会関係の宿泊の需要についての意見が出たが、現状はどうなっているのか。
(執行部)	ボート競技をはじめとするスポーツ大会関係の宿泊の需要については認識している。令和4年度まではコロナ禍の影響でスポーツ大会関係は少なかったが、今後はそうした需要も取り込めるようにしていきたい。
(委員)	最近、TSMCの工事関係の方の長期滞在の影響で宿泊場所の空きがないと聞いている。今後、観光等での宿泊に影響が出るのではないかと懸念している。
(執行部)	市内の旅館等にもTSMCの工事関係の宿泊があっている。また、コロナ禍の影響で旅館や観光業等から人材が離れていったことによる人手不足も宿泊に影響が出ており、対策を検討している。
(委員)	指標の宿泊者数にはTSMCの工事関係の宿泊者も含まれているのか。
(執行部)	含まれている。
(委員)	菊池渓谷から市民広場・温泉街等に観光客をつなぐといった取組はかなり前から行われていると思うが、現状はどうなっているのか。
(執行部)	令和4年度の菊池渓谷の入谷者数は約10万8千人であり、コロナ以前の人数には回復していない。新たな取組として、令和4年度から菊池渓谷の夜間のライトアップイベントを実施しており、今年度も実施する。夜間にイベントを実施することで、宿泊等にもつなげたいと考

	えている。
--	-------

● ありたい姿 3 (未来につなげる農業のまち)

(委員)	菊池基準の要件のエコファーマー制度の改正により新規認定等ができないと書かれているが、菊池基準の制度が変わることなのか。
(執行部)	制度改正を受けて、県が今年の5月に新たな制度(計画)を作られており、それを受けて今年度中に菊池基準の要綱改正を行い、新規認定を再開させたい。
(委員)	有害鳥獣対策について、普段の生活の中でも頻繁にイノシシ等を目撃する。日常生活での被害等も懸念されるが、有害鳥獣が頻繁に出現する要因としては、捕獲・駆除する方の不足があるのか。それとも、繁殖力が強いことが要因なのか。
(執行部)	メール等での市民への呼びかけと併せて、県の餌付けストップ対策も推進している。今後、広報紙での特集やチラシ配布も予定している。中山間地域等には侵入防止柵を設置しており、餌を求めた鳥獣が市街地へ降りてきているため、頻繁に目撃されていると思う。また、後継者不足等による遊休農地の増加もあるため、対策を進めていきたい。
(委員)	農業の担い手について、新規就農者への財政的な支援をあるようだが、それ以外にはどういった支援を行っているのか。
(執行部)	その他の支援として、農政課に営農指導員がおり、新規就農の相談対応等を行っている。
(委員)	農業を継続する上で大事な要素として所得向上があると思うが、農産物の販路確保等の多面的な支援が必要だと思う。
(委員)	関連だが、菊池で農業をする魅力や特色の発信は行っているのか。
(執行部)	菊池の農業の特色として、多様でオールマイティな農畜産物が生産されていることがあり、多様な形の就農ができることが魅力だと思う。
(委員)	本市は比較的若い新規就農者が多いと思うが、有機農業にこだわっている人が多いように思う。しかし、そういった方は指導員から学ぶというよりは自ら研修に出向いたり、農業者同士で学び合いながら技術を上げていったりすることが多いように思う。そういった農業者と営農指導員の結びつきはあるのか。
(執行部)	農政課に来てもらえば営農指導員が相談や指導等に応じる。申請等で来庁したりしない方に対してこちらからアプローチするのは難しいと思う。来庁してもらえば、相談や指導等に対応する。
(委員)	福岡県糸島市では、個人で農林水産物を売り出している。自分で販売し、儲ける喜びを感じるような仕組み作りをしているようだ。時代の変化によって、農林畜産物の販売のやり方も変えていく必要もあるよ

	うに思う。
--	-------

●ありたい姿 4（活力ある商工業のまち）

(委員)	創業や事業承継の支援については、本市は熱心に取り組んでいるように思う。今般の TSMC の進出に伴い動きが活発化しているが、関連企業の進出に伴う土地不足等が課題である。行政がもう少し先頭に立って対応する必要はあると思う。市の方針としては、住宅施策により重点を置くということであるが、企業等の立地に対してもしっかり対応する必要があると思う。
(執行部)	県営の工業団地については旭志のテクノパーク付近に新たに 25ha 整備予定となっている。工場等の建設に際しては平地の場所を求められることが多いが、旭志のそういった地域はほとんどが農業振興地域となっている。企業等からの問合せ等もあっているが、農業振興地域となっているところも多く、農振除外等が必要になるため、市として誘導するという事は現状では難しい。
(執行部)	住宅誘致等の専門部署として、今年度より地域開発推進室を設置しており、住宅地等のゾーニングの検討等を行っている。また、今年度より、民間の宅地開発事業に対する補助制度を創設し、財政的な支援も行っている。そして、土地を売りたい方や買いたい方のマッチング等を行う制度（土地バンク）を設け、情報発信を行っている。
(委員)	新たな県営工業団地の整備には数年かかるため、現在の需要には対応できない。住宅地等のゾーニングも今年度中にまとめるようだが、民間はそれ以上のスピードで動いているので、密接な情報共有と調整が必要だと思う。

●ありたい姿 5（安心して子育てできるまち）

特段の意見なし

●ありたい姿 6（健康で豊かに暮らし続けられるまち）

(委員)	高齢者施設について、一部ではサービス等の質が良くないような施設もあるように思う。行政として、実態把握や対応に努めてもらいたい。また、民生委員について、地域での成り手不足が課題であると思う。民生委員の方自身も高齢となっている中で、地域の高齢者等の対応をしないとイケない状況にある。時代の変化に応じて、制度ややり方を見直していくことが必要だと思う。
(執行部)	施設については、県の許認可手続きや監査等があり、状況に応じた県

	<p>や市からの指導等も行っている。引き続き、現状把握等を行いながら、状況に応じた指導や対応を取っていききたい。</p> <p>民生委員の選任については、選任に苦慮している状況にあることは承知している。法的な縛りもあるためすぐに制度を変えることはできないが、地域の実情や意見等を県にも伝えていきたい。</p>
(委員)	<p>国や県が関係するので難しい問題だと思うが、例えば、区長と兼務させるといった方法も検討してもらいたい。</p>
(委員)	<p>要介護認定の取組の振返りとして、要介護認定率を下げる事ができたという記述があるが、認定率を下げる事が目的のように受け取れる。認定率は全国平均や県平均とほとんど変わらない中で、認定率を下げる事目的としているのはなぜなのかと感じた。例えば、健康促進のプログラムや予防医療の取組の効果が出ているといったことであれば良いが、そうしたふうには見えない。</p> <p>菊池郡市は広域連合で認定しているので不自然さはないと思うが、菊池市だけ要介護認定3が少ない年がある。調査員によって調査がバラバラにならないようにすることは大事だと思うが、間違った形で統一されるのは問題があると思う。介護にならないことに越したことはないが、認定率の減少がこれだけ続いているのは気になる。</p>
(執行部)	<p>資料の記述だと、誤解を与えると思うので、記述内容については今後検討をしたい。認定率が減少している要因としては、介護予防の取組等の効果が出ていることが一因だと考えている。</p>
(委員)	<p>認定率の減少が介護予防の取組によるものであれば優良事例だと思う。そうした認定率の減少の要因をもう少し補足してもらいたい。</p>
(執行部)	<p>記述については、介護予防の取組も補足した上で、見直したい。なお、認定調査の平準化については、調査員によって調査がバラバラにならないように、研修等を通じて、示された基準に基づき調査を行うという意味で捉えてもらいたい。</p>
(委員)	<p>介護認定や介護給付の部分を数値で評価するのは難しい面があると思う。健康づくりや医療の取組も含めて総合的に評価する必要もあると思う。</p>
(委員)	<p>福祉は、医療や子育て、介護等、様々な部分でつながっていると思う。一つが欠けてしまうと、介護状態や生活困窮等になってしまう可能性があると思う。自治体によっては門前払いで話も聞いてくれない所もある中で、菊池市はかなり熱心に取り組んでもらっているように思う。</p>

●ありたい姿 7（自然に優しい環境に配慮したまち）

（委員）	脱炭素は重要な課題であると同時にビジネスチャンスであると思う。飲食店ではお客がマイタッパー等を持参されるようなこともある。一方で、脱炭素を意識した取組は店舗だけでは難しい面があるので、行政から支援・協力をお願いしたい。
（執行部）	ご提案の取組は廃プラスチック等のごみの削減やフードロスにもつながると思う。複数の部署に関係する内容なので、関係部署と連携しながら調査・研究等を行いたい。
（委員）	成果指標のリサイクル率の要因分析として、資源ごみの搬入量が前年度より少なかったと書かれているが、民間事業者等に流れたのか。
（執行部）	市では、資源ごみ（有価物）の回収団体奨励金制度を設けており、そちらでの回収があったことが搬入量減少の要因だと思う。
（委員）	TSMC の進出に伴い、竜門ダムの水を工業用水として活用するという話があるが、市民生活への影響はないのか。
（執行部）	竜門ダムの水については、現在県が調査中であるため、現時点での影響等は不明である。有明の工業団地で活用予定であった未利用の水を活用すると聞いている。

●ありたい姿 8（誰もが地域で交流できるまち）

（委員）	ガーデニングコンテストについて、応募は個人だけなのか。管理など個人だけでは大変な面もあるので、団体にも働きかけを行う必要があると思う。 また、以前近所の河川の整備をしてもらったが、草木が生えてきている。継続して整備してもらい、景観保全につなげてもらいたい。
（執行部）	ガーデニングコンテストについては、個人部門と団体部門を設けている。これまでは過去に入賞された方の応募はできないようになっていたが、今年度から過年度に入賞された方を対象とした殿堂入り部門を新たに設けた。 河川整備については、地域と連携しながら、保全を図っていきたい。

●ありたい姿 9（みんなでつくる安全安心なまち）

（委員）	災害に係る避難等の通知について、最近は通知がかなり早いので現実味がないように感じる。早めの呼びかけのための通知ということだろうが、それに慣れてしまうことで緊張感が欠けるように思う。 また、防犯カメラについて、企業等への設置促進の呼びかけを行うことも必要だと思う。
（執行部）	避難の通知等については、災害が発生してからの避難では遅いことか

	<p>ら早めの避難の呼びかけを行っている。特に、大雨や台風について、例えば、夜間に雨風が強まるといった気象情報が出ている場合は、夜間の避難は危険であるため、日中の早めの避難を呼びかけている。防犯カメラの設置協力の呼びかけについては、内部で今後検討したい。</p>
(委員)	<p>消防団のあり方の見直しについて、若い人の入団が減少している点やいつまでも退団できないといった点が以前から課題となっていると思うが、現在の議論の状況はどうなっているのか。</p>
(執行部)	<p>消防団の定員数の見直しについて、消防団や各地域も含めて、協議等を進めている。</p>

●ありたい姿 10 (便利で快適に暮らせるまち)

(委員)	<p>公共交通について、昨今、高齢者による運転事故の報道もあり免許返納を促す必要もあると思うが、そのためには地域の公共交通の充実が必須である。その中で、ここ数年べんりカーやあいのりタクシーの利用者が減少している状況があるので、やり方等の抜本的な見直しが必要だと思う。</p>
(執行部)	<p>ここ数年の利用者数の減少についてはコロナ禍の影響もあると思うが、現在のやり方がニーズに合っていない面もあると思う。昨年度は旭志地域で交通に関するアンケート調査を実施し、今年度はその他の地域へのアンケート調査を進めている。調査結果を踏まえて、見直し等を検討したい。アンケート調査の中で、利用方法が分からないといった意見もあったため、各地域へ出向いた上での説明等も行っている。</p>
(委員)	<p>べんりカーについて、家の近所に停留所がない、もしくは停留所までの距離が離れている場合はなかなか利用が難しいと思うが、今後の見直しの際に停留所の場所についても併せて検討してもらいたい。</p>
(執行部)	<p>路線バスとの兼ね合いもあるため、全ての要望に対応することは難しいが、地元の要望等も考慮し、今後検討していきたい。</p>
(委員)	<p>現在市ではTSMC 関連での住宅施策を推進されているが、関連企業の従業員等が居住された場合、従業員の通勤手段や子どもの通学手段が課題になると思う。住宅施策を進める上では、交通施策も併せて検討する必要があるし、観光面にも影響があると思う。</p>
(執行部)	<p>交通については、場合によっては近隣自治体も含めて協議等を行う必要があると思う。</p>
(委員)	<p>コンパクトシティの形成が思うように進まなかった要因は何か。</p>
(執行部)	<p>業者の建築確認申請時にできるだけ居住区域内への誘導を働きかけたが、思うように進んでいない。要因としては、アクセス道路がないということが一因だと思う。開発を誘導するような道路事業を進めているので、今後の状況を注視したい。</p>



(委員)	居住地を決める上で重要な要素となるのは、やはり道路や交通機関を含めた交通アクセスである。コンパクトシティ形成を進めるといふ方針は良いと思うが、交通アクセスも併せて検討する必要があると思うし、対外的な発信も必要になると思う。
(委員)	本市でも住宅開発の動きが盛んであるが、一部の学校区に集中しており、学校の定員を上回っていると聞いている。住宅施策を進める上では、学校区の見直しも併せて検討する必要があると思う。
(執行部)	今年度から学校規模適正化委員会を設置し、検討を進めている。学校区や校舎等の問題についても、併せて検討したい。

● ありたい姿 11 (質の高い学びが人を育てるまち)

(委員)	県学力学習状況調査について、目標を下回っている要因は把握しているか。
(執行部)	課題としては、予習・復習等を含めた家庭学習の定着ができていない点があると認識している。科目によっては上がっているものもあるが、全体的に下回っており、危惧している。
(委員)	昔は文教の里きくちと言われていた。子どもたちにとっても学力は必要だと思うので、目標に近づくような施策に取り組んでほしい。
(執行部)	基礎学力の向上の取組に引き続き取り組んでいる。特に、算数・数学・英語については、プロジェクトチームを作って取り組んでいる。また、子どもたちが楽しく授業を受けられるような授業改善にも取り組んでいる。
(委員)	学力が低迷している原因が家庭教育の分野であるとすれば、家庭の保護者にどう働きかけるとか、家に帰る時間の前にどう取り組むかなどの仕掛けが必要だと思う。教職員は異動があるため、家庭や地域を巻き込んだ仕掛けを行う必要があると思う。
(執行部)	市では地域の方に協力を得ながら学習指導を行う地域未来塾や放課後子ども教室といった取組を行っている。
(委員)	学力学習状況調査の現状を保護者へ周知はしているのか。
(執行部)	調査結果は保護者へ周知している。家庭学習の充実についても、今後PTA 総会等で呼びかけていきたい。
(委員)	学力調査が平均を上回っている地域との比較分析等も行ってもらいたい。
(委員)	学校や教育委員会は熱心に取り組んでいると思うが、話に出ているとおり、家庭学習の定着に対する取組は重要だと思う。一方で、プラチナ未来人財育成塾等のリーダー育成講座に中学生が毎年参加しており、子ども議会での提言内容も濃いものになっていると思う。また、SDGs の学習にも取り組んでおり、物事を考える視野の広まりや先を

	見通す力の高まりといったことにもつながっていると思う。
--	-----------------------------

●ありたい姿 12（伝統や郷土を大切にすまち）

(委員)	学校への郷土学習については様々な取組がなされているが、地域には歴史文化資源が数多くあるので、小さい時からそうしたものを学習することで地域への愛着が湧き、地域の担い手として地域に残ってもらえると思う。地元への就職を進めていると思うが、地元就職にも結び付いていくと思うので、力を入れて取り組んでもらいたい。
------	---

●ありたい姿 13（人を大切にする思いやりのあるまち）

(委員)	人権啓発について、現在市で認識している課題はあるか。
(執行部)	人権啓発に係る様々な取組を進めているが、一方で、部落差別事案がいまだに発生している現状があり、課題と認識している。
(委員)	地域性などが関係しているのか。
(執行部)	本市は他の地域と比べて、人権問題等に対する意識は高いと考える。そのため、積極的に人権啓発に関する取組が行われており、部落差別事案等の報告もあっていると考える。

●ありたい姿 14（市民に寄り添う満足度の高いまち）

特段の意見なし

●ありたい姿 15（健全で効果的な財政運営のまち）

特段の意見なし

(2) 菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和4年度の施策）及び  
地方創生関連交付金活用事業の評価について

(委員)	菊池ファンクラブの登録者は菊池市内の方が多いのか。ファンクラブに登録している方はコアなファンになり得る層だと思う。そうしたファンは自身の SNS 等で菊池市の情報を発信・拡散してくれる貴重な存在だと思うので、こうした方の意見聴取などを行うと新たな取組へのヒントになると思う。
(委員)	菊池姓の方のルーツを辿ると最終的には菊池市に行き着くといったような話がテレビ等であったが、そうした話題等も活かしながら、菊池市のコアファンになってもらい、情報拡散につなげてもらいたい。

(3) 答申（案）について

(執行部)	本日の意見を整理し、答申書（案）を事務局で作成し会長及び各委員の確認の後、市へ答申する流れで進めたい。
-------	---

6. 閉 会